

平成 25 年度 大田区 10 年基本計画
「おおた未来プラン 10 年（後期）」策定に伴う区民アンケート調査

平成 25 年 5 月実施
（概要版）

大田区では、区民の皆様の区政に関する意向を把握し、「おおた未来プラン 10 年（後期）」の策定にあたっての基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。この小冊子は、その調査結果の概要をお知らせするものです。

調査にご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

平成 25 年 8 月

大田区 計画財政部 計画財政課

●調査概要

対 象 者・区内に居住する満 20 歳以上の男女個人

対 象 数・2,400 人

有効回収数・1,064 人（電子申請での回答含む）

有効回収率・44.3%

抽 出 方 法・層化二段無作為抽出法

調 査 方 法・郵送調査（回収方法は郵送回収に加え、携帯電話およびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施）

●グラフの見方

- ・ n はその設問の回答者数を表す。
- ・ 集計は小数点以下第二位を四捨五入してあるので、合計が 100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答の場合は、合計が 100%を超えることがある。

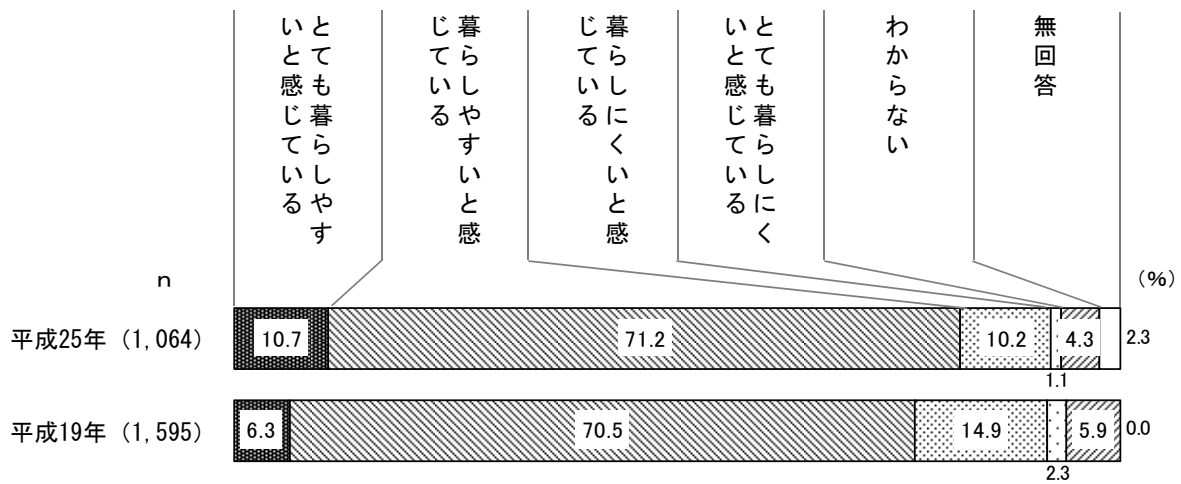
目 次

1. まちの暮らしやすさ	3
2. まちが暮らしやすいと感じる点	4
3. まちが暮らしにくいと感じる点	5
4. 重視していくべき区の施策	6
5. 大田区の将来イメージ	7
6. 「少子社会への対応」に関して力を入れていくべき課題	8
7. 「教育の充実」に関して力を入れていくべき課題	9
8. 「高齢社会への対応」に関して力を入れていくべき課題	10
9. 運動・スポーツ活動をした頻度	11
10. 「住みよいまちづくり」に関して力を入れていくべき課題	12
11. まちの魅力	13
12. 駅周辺のバリアフリー化の進捗	13
13. 大地震による建物倒壊の不安	14
14. 羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献	14
15. 「羽田空港周辺を活かしたまちづくり」に関して力を入れていくべき課題	15
16. 「地域力を活かした区政」に関して力を入れていくべき課題	16
17. 「地域力」という言葉の認知度	17
18. 大田区内の商店街の満足度	17
19. 「環境問題への取り組み」に関して力を入れていくべき課題	18
20. 「区民主体の区政実現」に関して力を入れていくべき課題	19

1 まちの暮らしやすさ

■ 『暮らしやすい(計)』が8割強

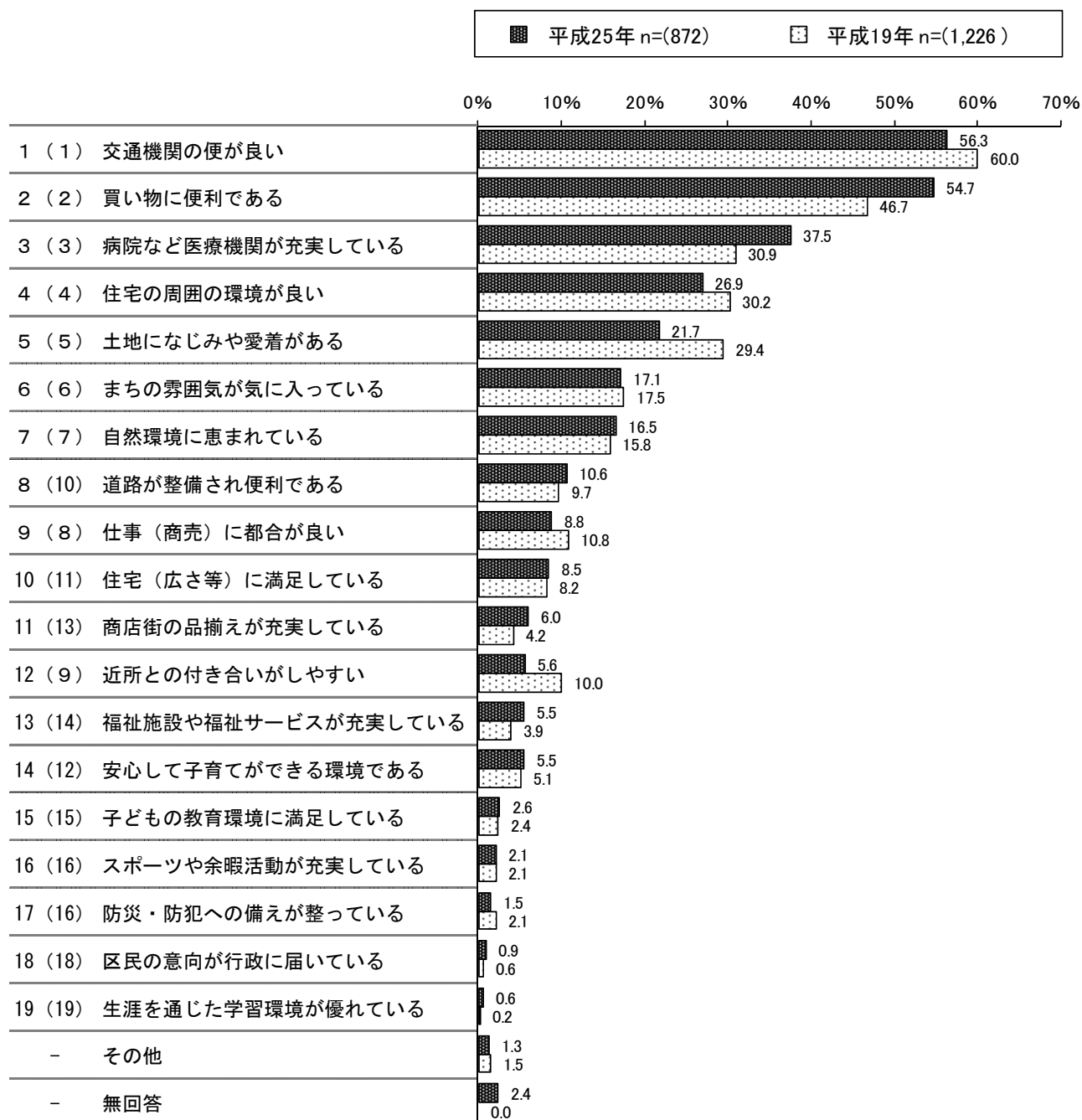
現在住んでいるまちの暮らしやすさをどのように感じているかを聞いたところ、「とても暮らしやすいと感じている」(10.7%)、「暮らしやすいと感じている」(71.2%)で、この2つを合わせた『暮らしやすい(計)』は8割強となっている。一方、「暮らしにくいと感じている」(10.2%)、「とても暮らしにくいと感じている」(1.1%)で、『暮らしにくい(計)』は1割強となっている。



2 まちが暮らしやすいと感じる点

■「交通機関の便がよい」が5割台半ばを超えている

まちが暮らしやすいと感じる点は、「交通機関の便が良い」が56.3%と最も高く、次いで「買い物に便利である」(54.7%)、「病院など医療機関が充実している」(37.5%)となっている。

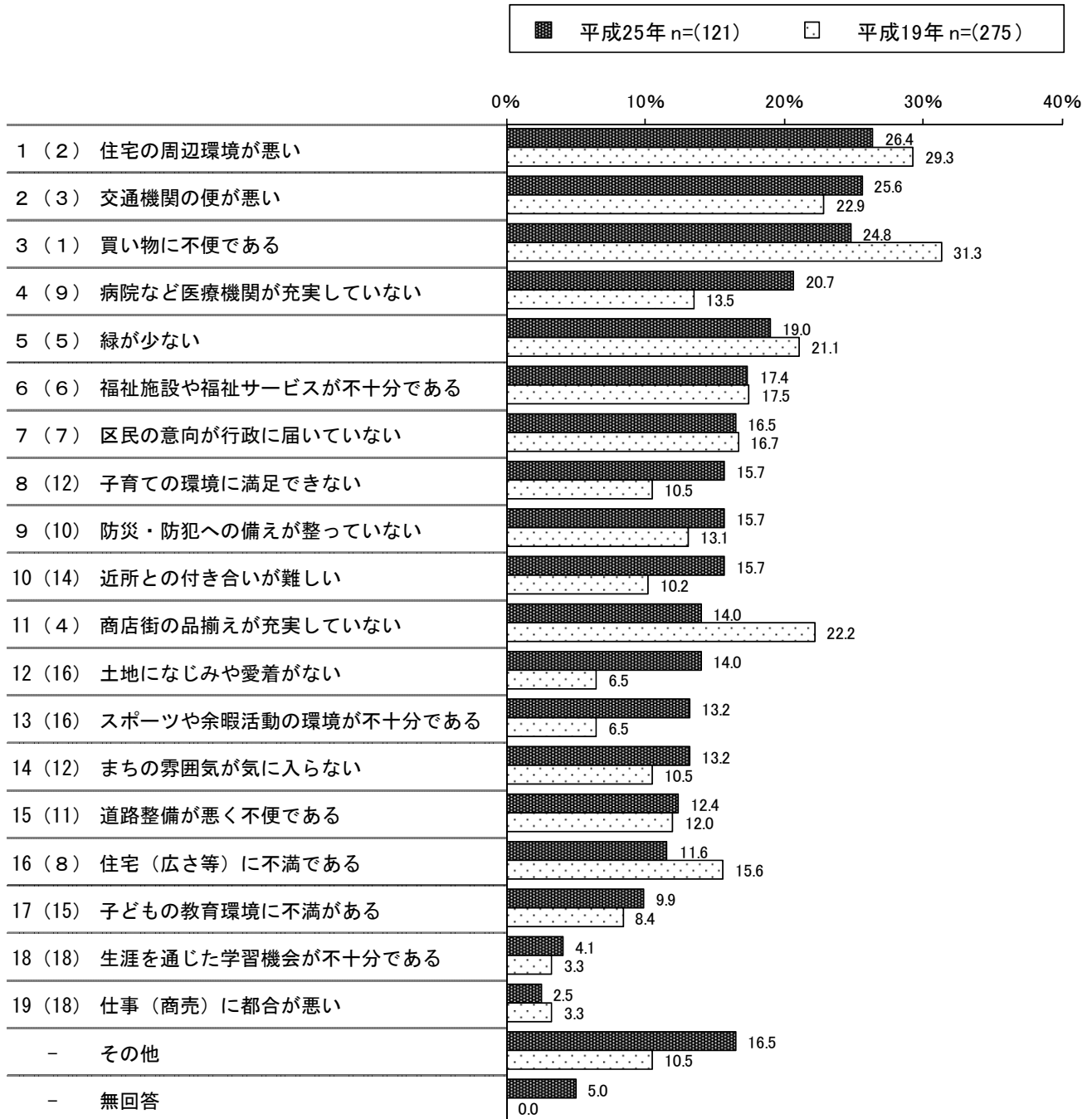


※ () 内の数字は平成 19 年調査の順位

3 まちが暮らしにくいと感じる点

■「住宅の周辺環境が悪い」が2割台半ばを超えている

まちが暮らしにくいと感じる点は、「住宅の周辺環境が悪い」が26.4%と最も高く、次いで「交通機関の便が悪い」(25.6%)、「買い物に不便である」(24.8%)、「病院など医療機関が充実していない」(20.7%)、「緑が少ない」(19.0%)となっている。



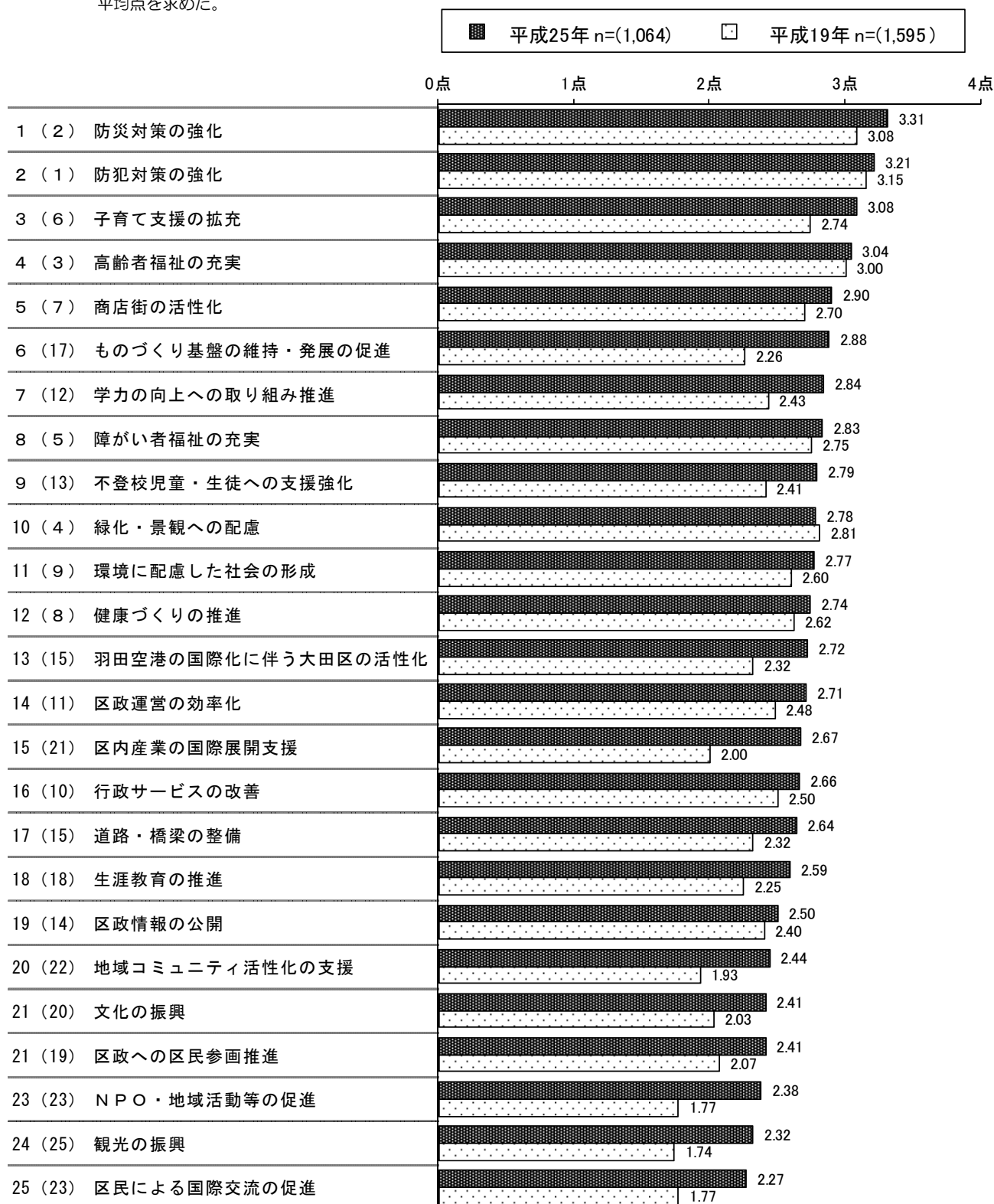
※ () 内の数字は平成19年調査の順位

4 重視していくべき区の施策

■「防災対策の強化」が最も優先度が高い

重視していくべき区の施策を25項目に分けて聞いたところ、「防災対策の強化」が3.31点と最も高く、次いで「防犯対策の強化」(3.21点)、「子育て支援の拡充」(3.08点)、「高齢者福祉の充実」(3.04点)、「商店街の活性化」(2.90点)となっている。

※25項目について重視していくべき区の施策を比較しやすくするために、「最優先で取り組みを進めるべき」4点、「優先的に取り組みを進めるべき」3点、「これまでと同じ程度の取り組みでよい」2点、「取り組みを縮小すべき」1点とし、平均点を求めた。

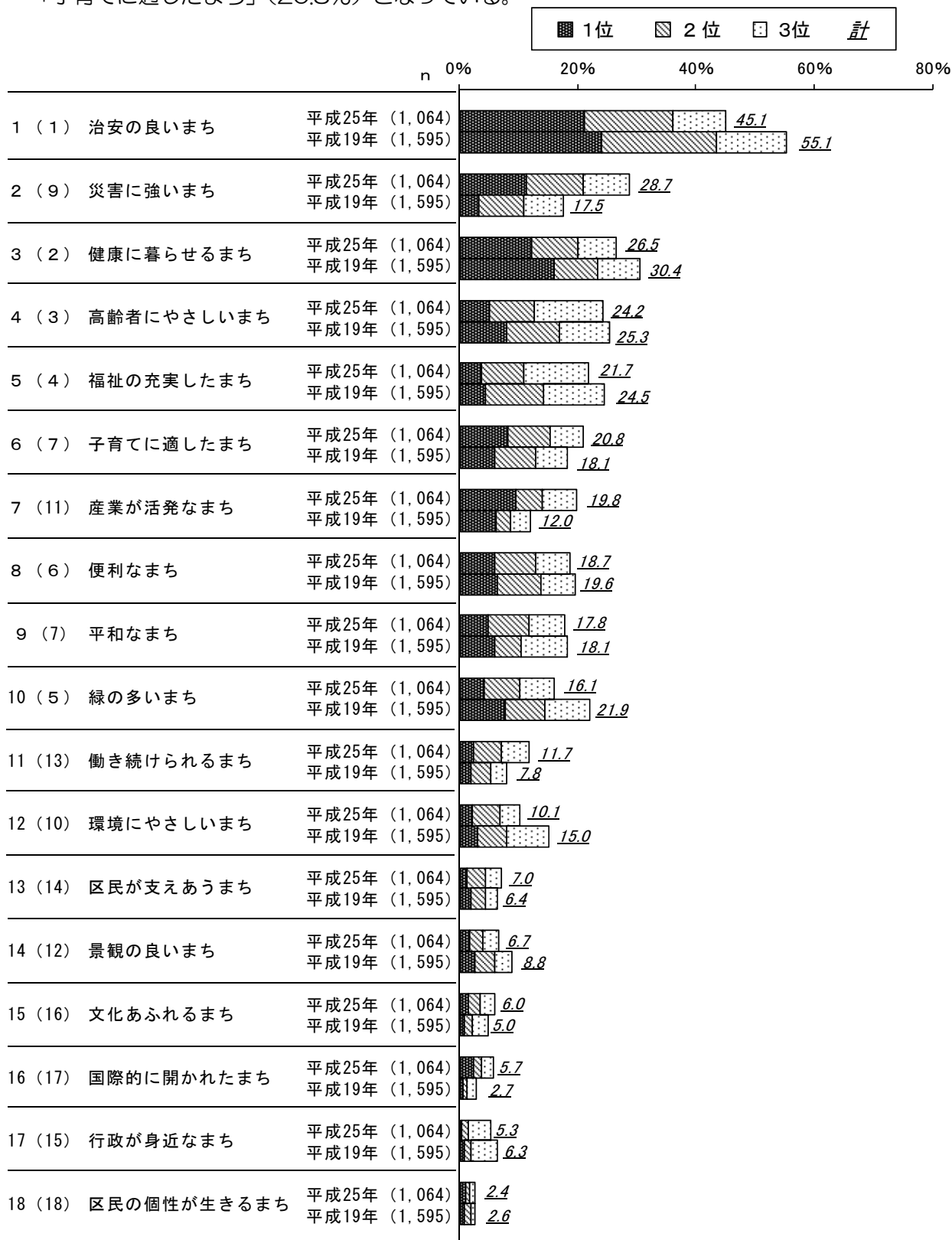


※ () 内の数字は平成19年調査の順位

5 大田区の将来のイメージ

■「治安の良いまち」が4割台半ば

今後、どのようなまちになって欲しいかを聞いたところ、第1位～第3位までの回答合計数の割合は、「治安の良いまち」が45.1%と最も高く、次いで「災害に強いまち」(28.7%)、「健康に暮らせるまち」(26.5%)、「高齢者にやさしいまち」(24.2%)、「福祉の充実したまち」(21.7%)、「子育てに適したまち」(20.8%)となっている。

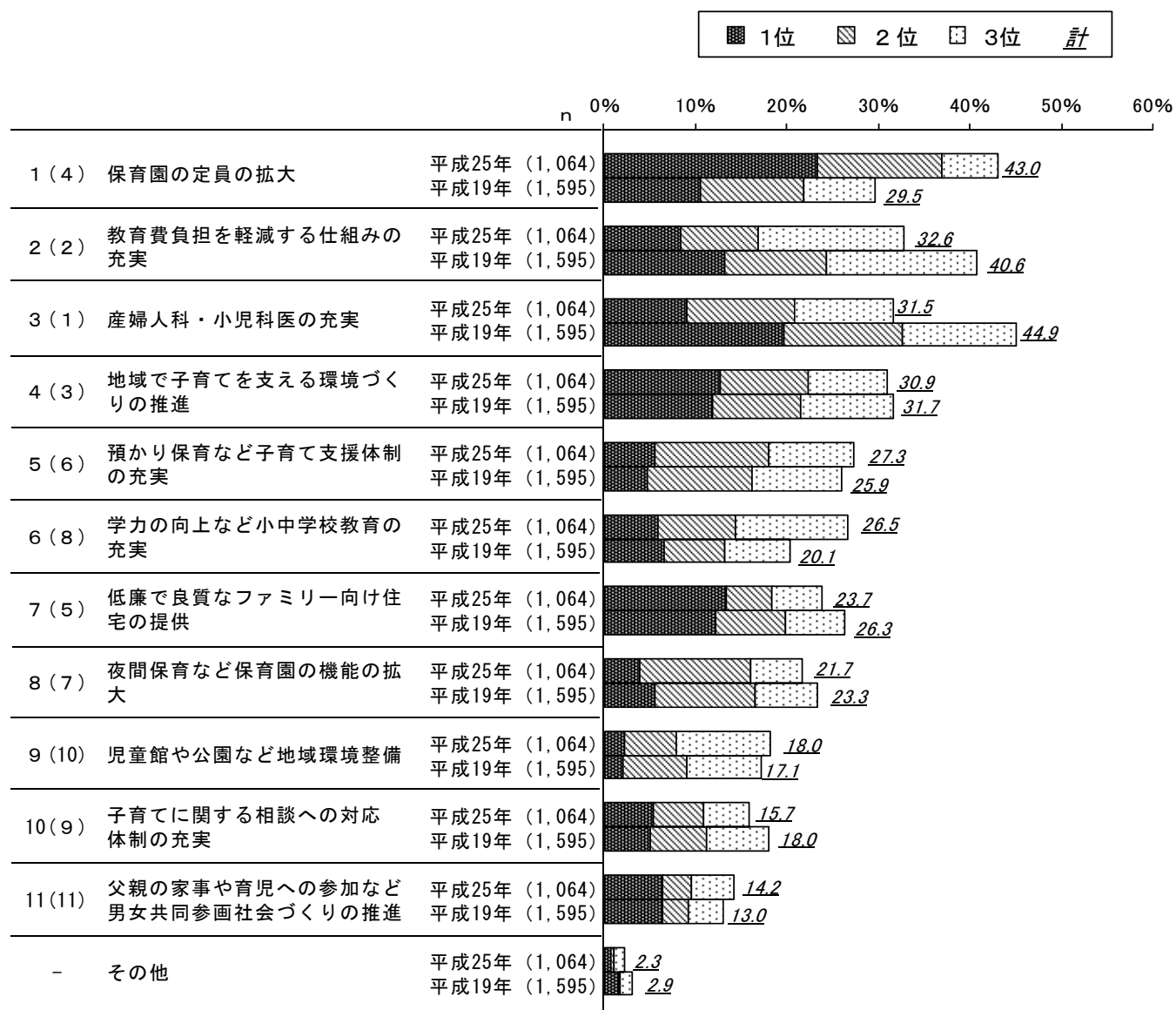


※ () 内の数字は平成19年調査の順位

6 「少子社会への対応」に関して力を入れていくべき課題

■「保育園の定員の拡大」が4割台半ば近く

「少子社会への対応」に向けて、どのような課題に力を入れていくべきかを聞いたところ、第1位～第3位までの回答合計数の割合は、「保育園の定員の拡大」が43.0%と最も高く、次いで「教育費負担を軽減する仕組みの充実」(32.6%)、「産婦人科・小児科医の充実」(31.5%)、「地域で子育てを支える環境づくりの推進」(30.9%)、「預かり保育など子育て支援体制の充実」(27.3%)、「学力の向上など小中学校教育の充実」(26.5%)となっている。

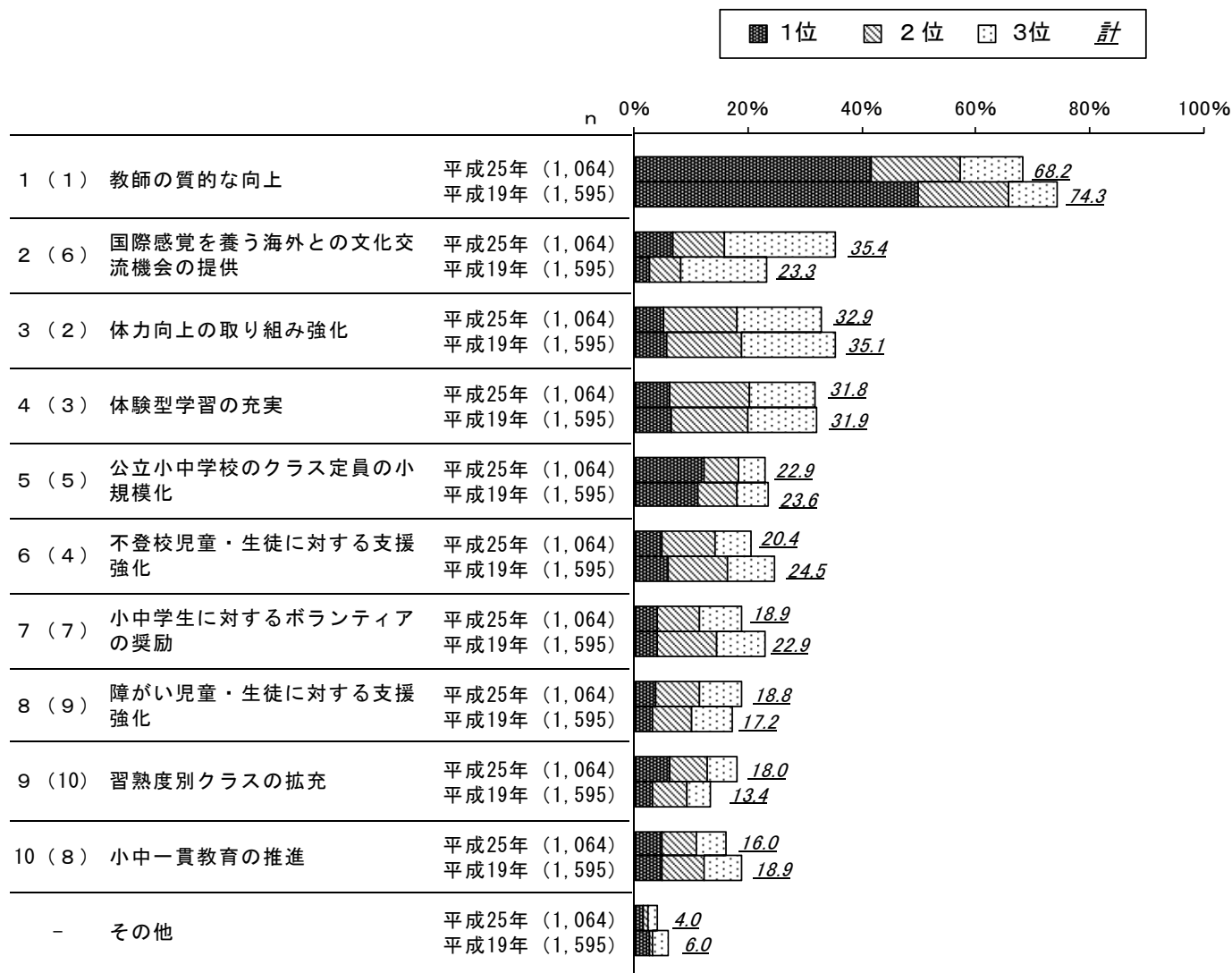


※ () 内の数字は平成19年調査の順位

7 「教育の充実」に関して力を入れていくべき課題

■ 「教師の質的な向上」が7割近く

「教育の充実」に向けて、どのような課題に力を入れていくべきかを聞いたところ、第1位～第3位までの回答合計数の割合は、「教師の質的な向上」が68.2%と最も高く、次いで「国際感覚を養う海外との文化交流機会の提供」(35.4%)、「体力向上の取り組み強化」(32.9%)、「体験型学習の充実」(31.8%)となっている。

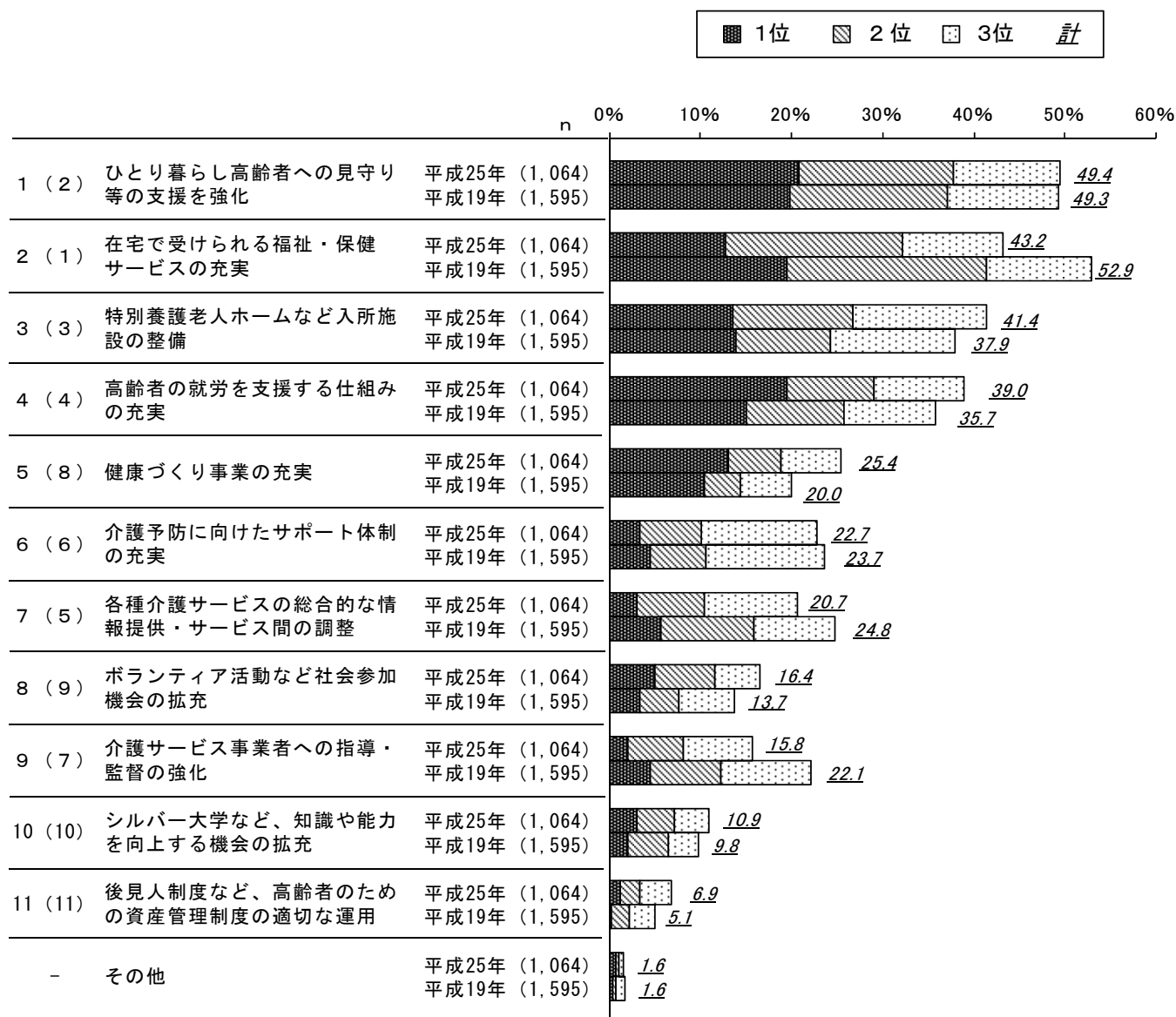


※ () 内の数字は平成19年調査の順位

8 「高齢社会への対応」に関して力を入れていくべき課題

■「ひとり暮らし高齢者への見守り等の支援を強化」が5割弱

「高齢社会への対応」に向けて、どのような課題に力を入れていくべきかを聞いたところ、第1位～第3位までの回答合計数の割合は、「ひとり暮らし高齢者への見守り等の支援を強化」が49.4%と最も高く、次いで「在宅で受けられる福祉・保健サービスの充実」(43.2%)、「特別養護老人ホームなど入所施設の整備」(41.4%)、「高齢者の就労を支援する仕組みの充実」(39.0%)となっている。

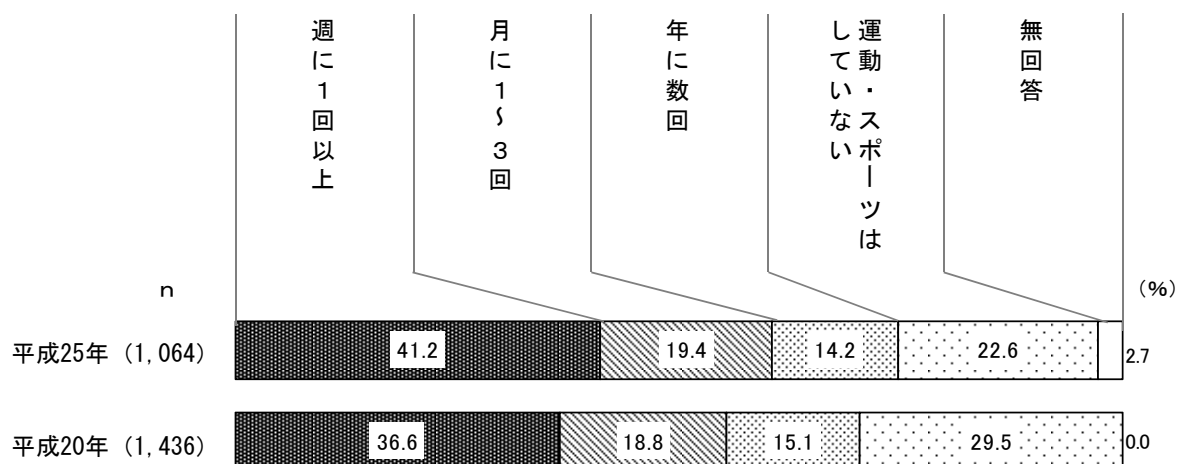


※ () 内の数字は平成19年調査の順位

9 運動・スポーツ活動をした頻度

■「週に1回以上」が4割強

この一年間に、どれくらいの頻度で運動・スポーツ活動をしたかを聞いたところ、「週に1回以上」が41.2%と4割強、「月に1～3回」が19.4%と2割弱、「年に数回」が14.2%と1割台半ば近くとなっている。また、「運動・スポーツはしていない」は22.6%と2割強となっている。

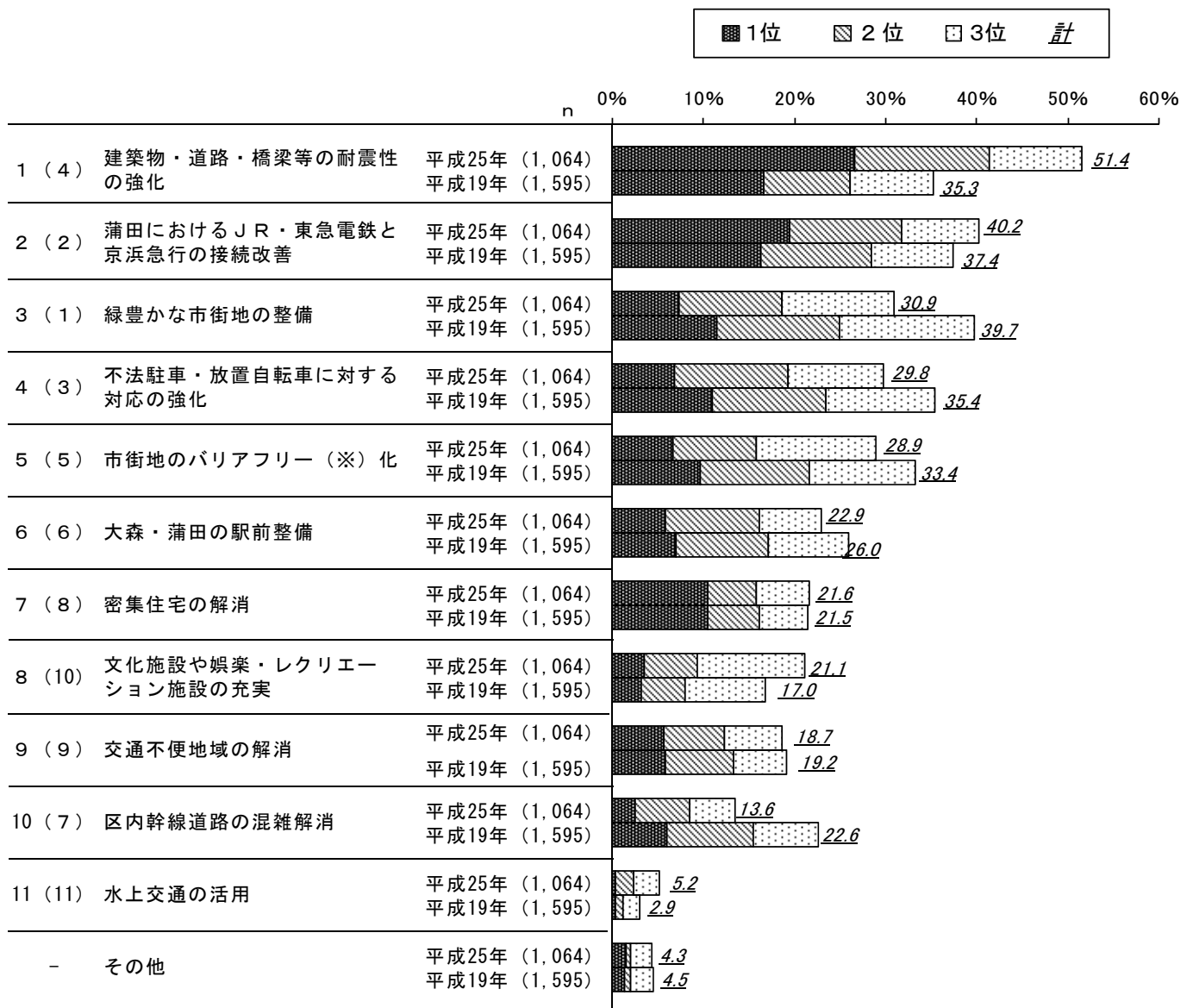


10 「住みよいまちづくり」に関して力を入れていくべき課題

■「建築物・道路・橋梁等の耐震性の強化」が5割強

「住みよいまちづくり」に向けて、どのような課題に力を入れていくべきかを聞いたところ、第1位～第3位までの回答合計数の割合は、「建築物・道路・橋梁等の耐震性の強化」が51.4%と最も高く、次いで「蒲田におけるJR・東急電鉄と京浜急行の接続改善」(40.2%)、「緑豊かな市街地の整備」(30.9%)、「不法駐車・放置自転車に対する対応の強化」(29.8%)、「市街地のバリアフリー化」(28.9%)となっている。

(※) 障がい者、高齢者などが社会生活を営む上で生活の支障となる物理的な障がいや精神的な障壁を取り除くための施策

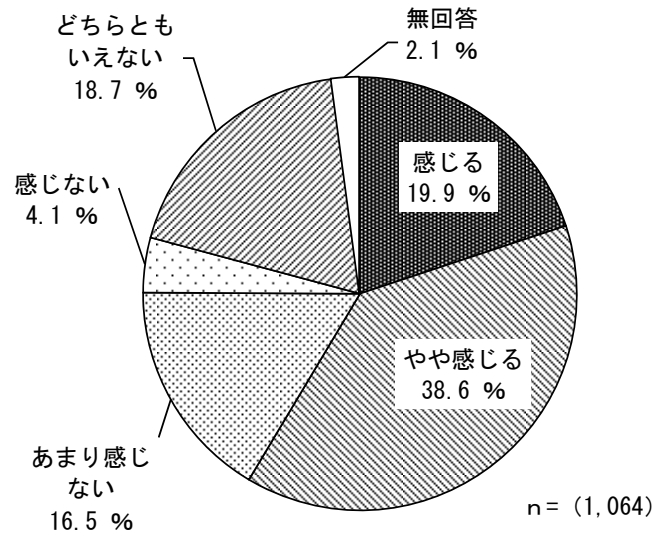


※ () 内の数字は平成19年調査の順位

1 1 まちの魅力

■『魅力的であると感じる（計）』は6割近く

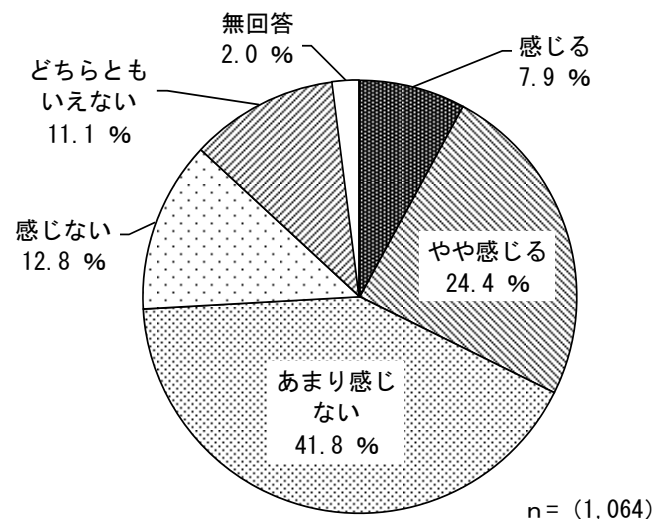
住んでいるまちが魅力的であると感じるかどうかを聞いたところ、「感じる」（19.9%）と「やや感じる」（38.6%）を合わせた『感じる（計）』は58.5%と6割近くとなっている。一方、「感じない」（4.1%）と「あまり感じない」（16.5%）を合わせた『感じない（計）』は20.6%と約2割となっている。また、「どちらともいえない」は18.7%と2割近くとなっている。



1 2 駅周辺のバリアフリー化の進捗

■『バリアフリー化が進んだと感じる（計）』は3割強

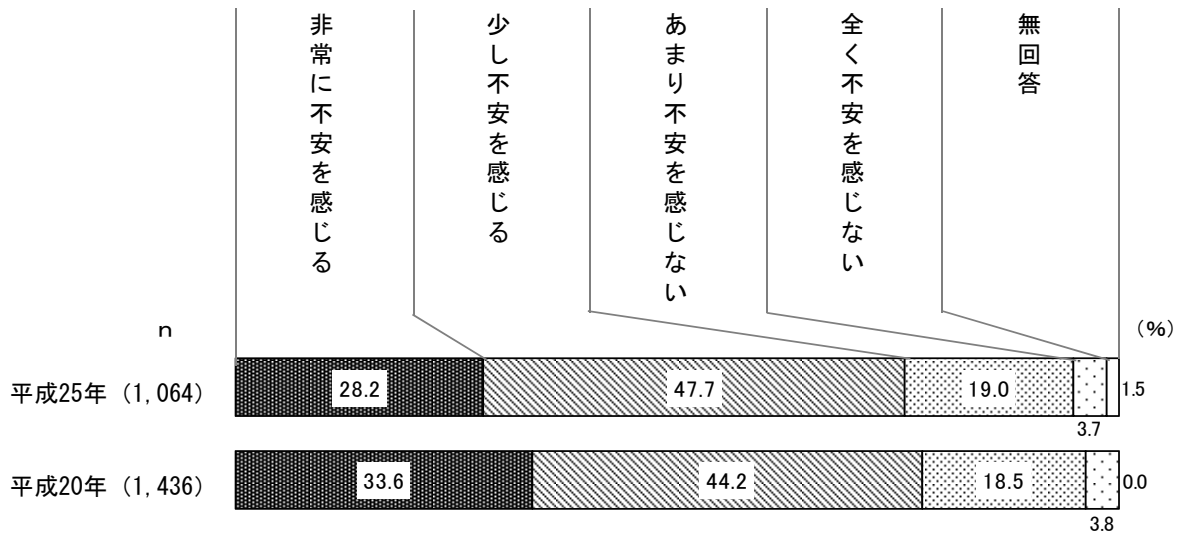
駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じるかどうかを聞いたところ、「感じる」（7.9%）と「やや感じる」（24.4%）を合わせた『感じる（計）』は32.3%と3割強となっている。「感じない」（12.8%）と「あまり感じない」（41.8%）を合わせた『感じない（計）』は54.6%と5割台半ば近くとなっている。また「どちらともいえない」は11.1%と1割強となっている。



1 3 大地震による建物倒壊の不安

■ 『倒壊の不安を感じる（計）』は7割台半ば

大地震が起きたら、住んでいる建物は倒壊するかもしれないという不安があるかどうかを聞いたところ、「非常に不安を感じる」(28.2%)と「少し不安を感じる」(47.7%)を合わせた『不安を感じる(計)』は75.9%と7割台半ばとなっている。「全く不安を感じない」(3.7%)と「あまり不安を感じない」(19.0%)を合わせた『感じない(計)』は22.7%と2割強となっている。

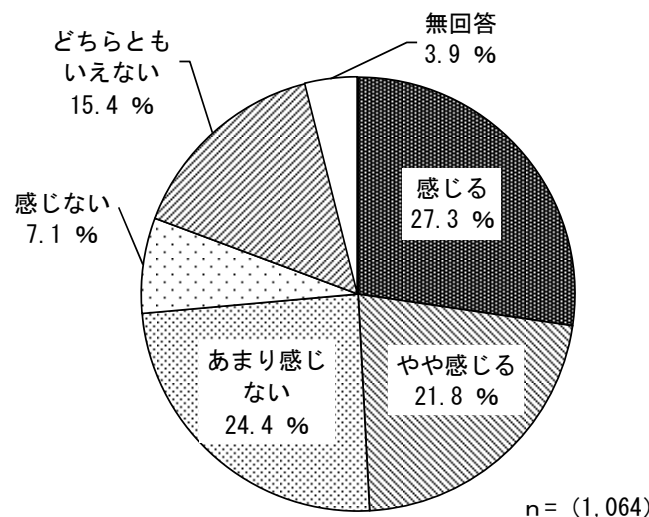


1 4 羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献

■ 『貢献すると感じる（計）』は5割弱

羽田空港及び羽田空港跡地(※)が地域経済の活性化に貢献すると感じるかどうかを聞いたところ、「感じる」(27.3%)と「やや感じる」(21.8%)を合わせた『感じる(計)』は49.1%と5割弱となっている。「感じない」(7.1%)と「あまり感じない」(24.4%)を合わせた『感じない(計)』は31.5%と3割強となっている。また「どちらともいえない」は15.4%と1割台半ばとなっている。

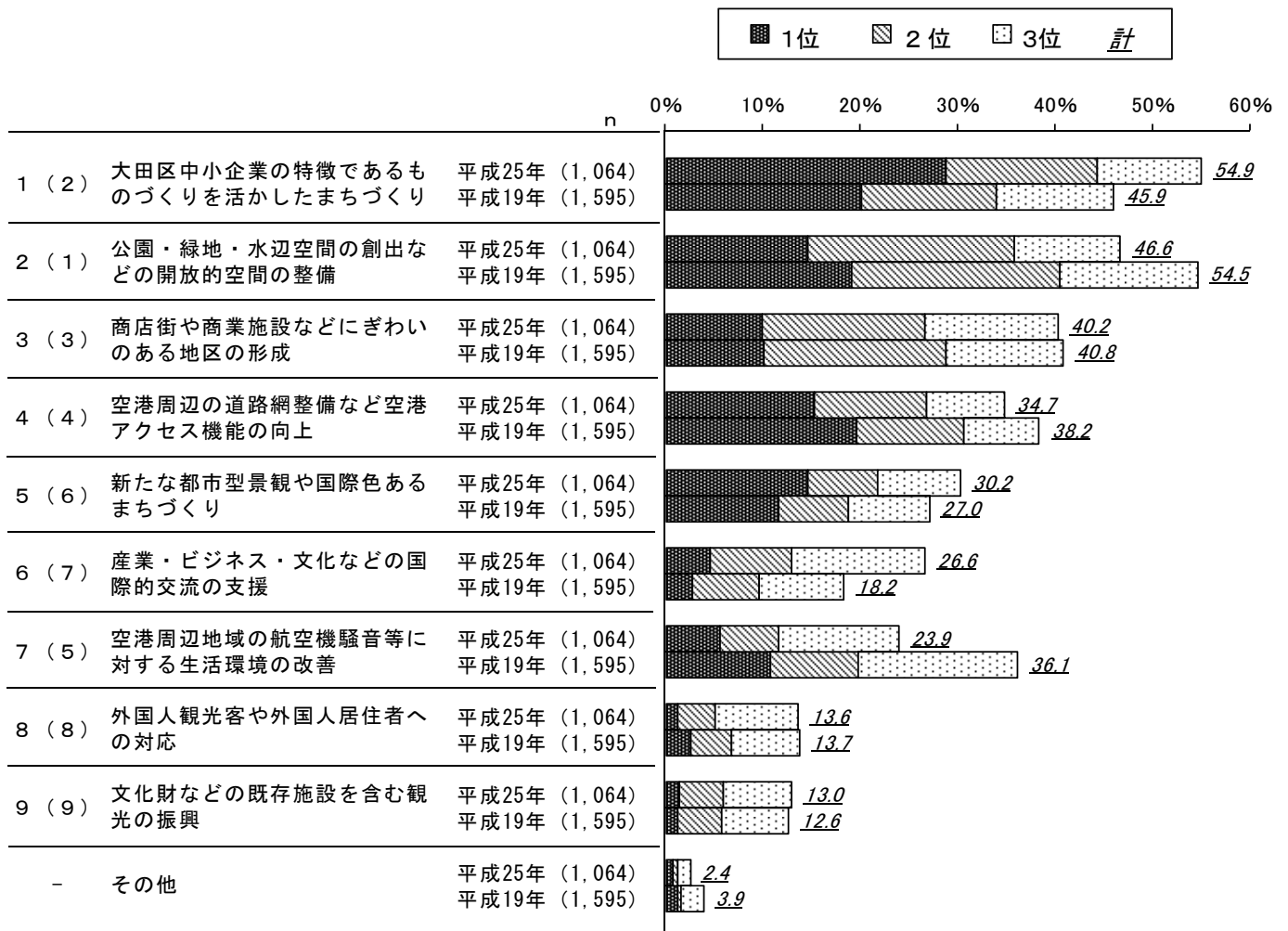
(※) 羽田空港の沖合展開事業の実施に伴い発生する天空橋駅周辺の土地で、大田区は、この跡地を活用したまちづくりを進めています。



15 「羽田空港周辺を活かしたまちづくり」に関して力を入れていくべき課題

■「大田区中小企業の特徴であるものづくりを活かしたまちづくり」が5割台半ば近く

「羽田空港」の国際化や跡地利用など大きな変化の中で、どのようなまちづくりを進めていくべきかを聞いたところ、第1位～第3位までの回答合計数の割合は、「大田区中小企業の特徴であるものづくりを活かしたまちづくり」が54.9%と5割台半ば近くと最も高く、次いで「公園・緑地・水辺空間の創出などの開放的空間の整備」(46.6%)、「商店街や商業施設などにぎわいのある地区の形成」(40.2%)、「空港周辺の道路網整備など空港アクセス機能の向上」(34.7%)となっている。

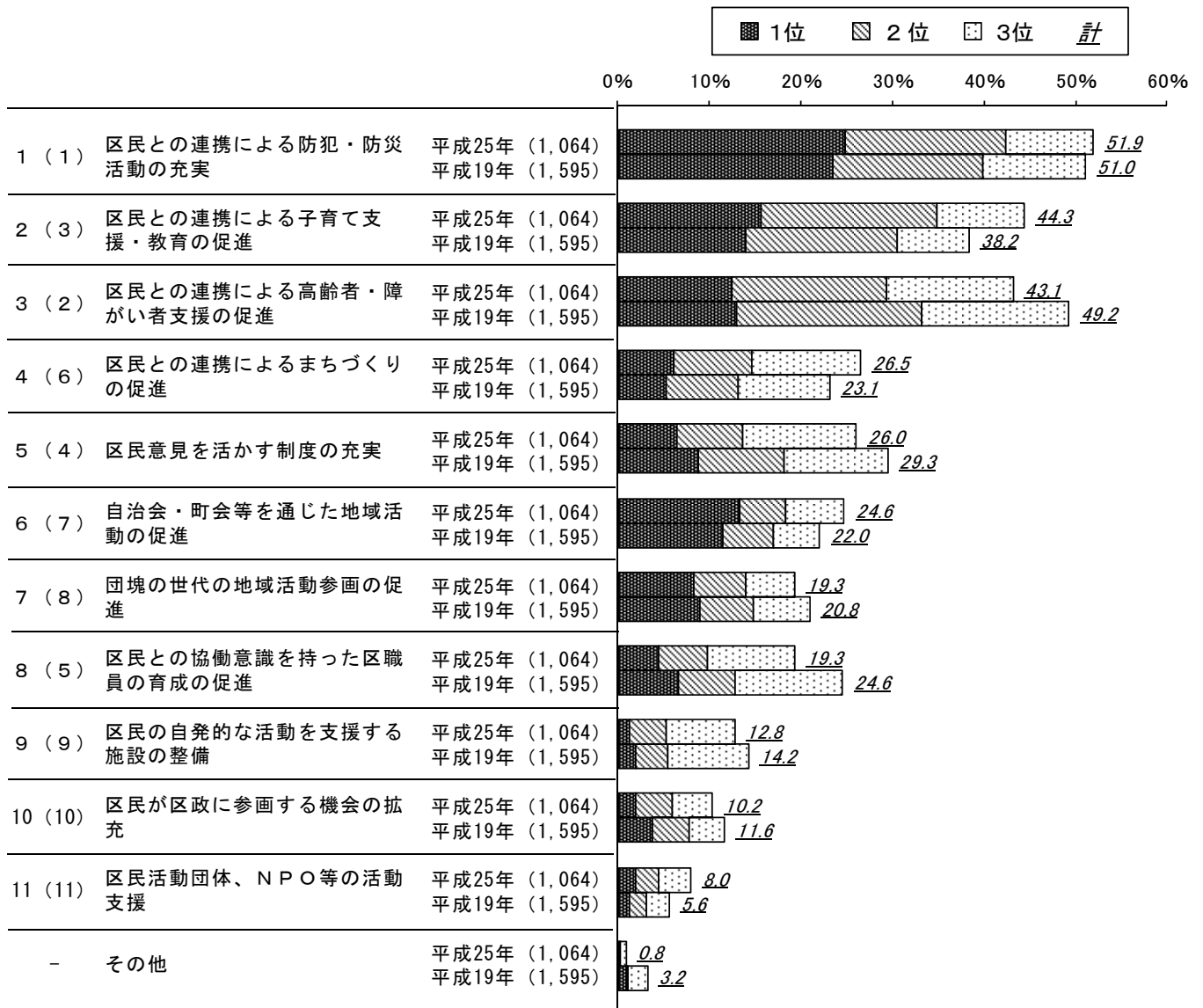


※ () 内の数字は平成 19 年調査の順位

16 「地域力を活かした区政」に関して力を入れていくべき課題

■ 「区民との連携による防犯・防災活動の充実」が5割強

「地域力を活かした区政」に関して、どのような課題に力を入れていくべきかを聞いたところ、第1位～第3位までの回答合計数の割合は、「区民との連携による防犯・防災活動の充実」が51.9%と最も高く、次いで「区民との連携による子育て支援・教育の促進」(44.3%)、「区民との連携による高齢者・障がい者支援の促進」(43.1%)となっている。

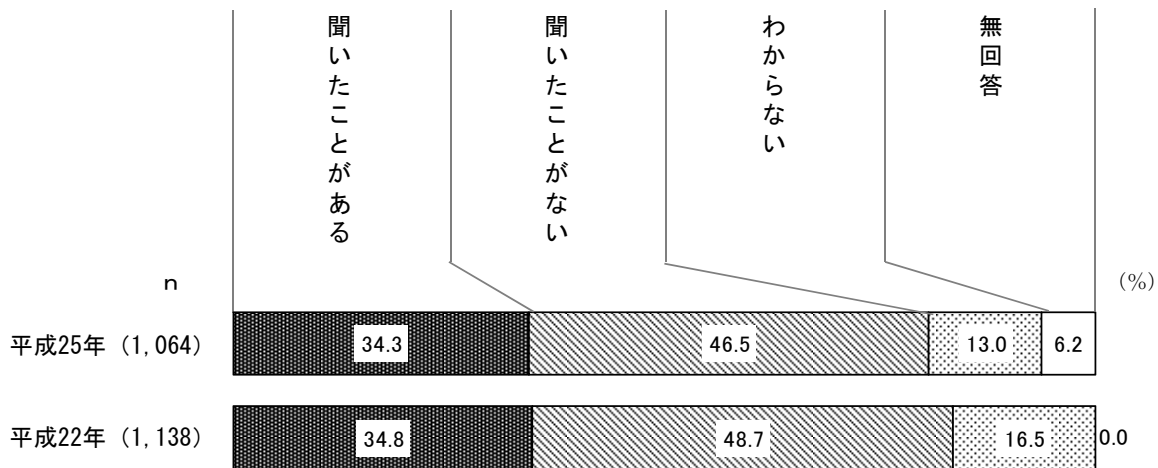


※ () 内の数字は平成19年調査の順位

17 「地域力」という言葉の認知度

■ 「聞いたことがない」が4割台半ばを超えている

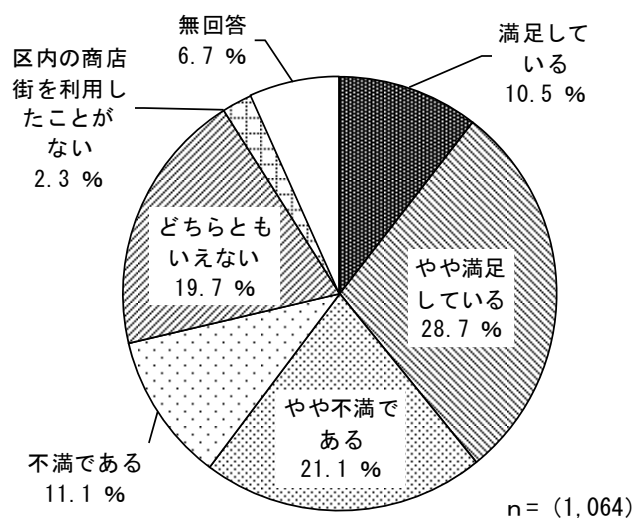
「地域力」という言葉を「聞いたことがある」が34.3%と3割台半ば近く、「聞いたことがない」が46.5%と4割台半ばを超えている。



18 大田区内の商店街の満足度

■ 『商店街に満足している (計)』は4割弱

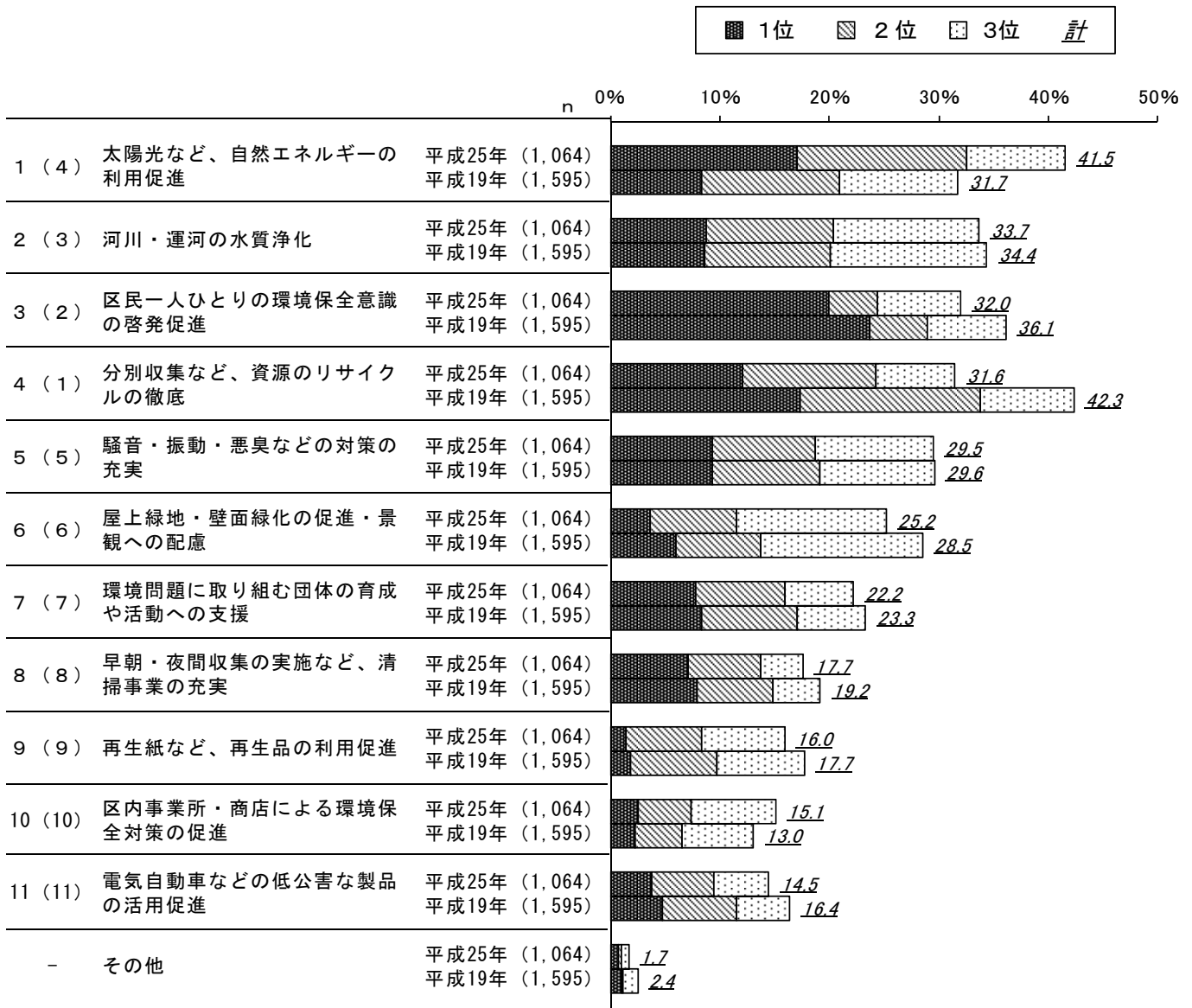
大田区内の商店街に満足しているかどうかを聞いたところ、「満足している」(10.5%)と「やや満足している」(28.7%)を合わせた『満足している (計)』は39.2%と4割弱となっている。一方、「不満である」(11.1%)と「やや不満である」(21.1%)を合わせた『不満である (計)』は32.2%と3割強となっている。また、「どちらともいえない」は19.7%と2割弱、「区内の商店街を利用したことがない」は2.3%と1割未満となっている。



19 「環境問題への取り組み」に関して力を入れていくべき課題

■「太陽光など、自然エネルギーの利用促進」が4割強

「環境問題への取り組み」に関して、どのような課題に力を入れていくべきかを聞いたところ、第1位～第3位までの回答合計数の割合は、「太陽光など、自然エネルギーの利用促進」が41.5%と最も高く、次いで「河川・運河の水質浄化」(33.7%)、「区民一人ひとりの環境保全意識の啓発促進」(32.0%)、「分別収集など、資源のリサイクルの徹底」(31.6%)、「騒音・振動・悪臭などの対策の充実」(29.5%)となっている。

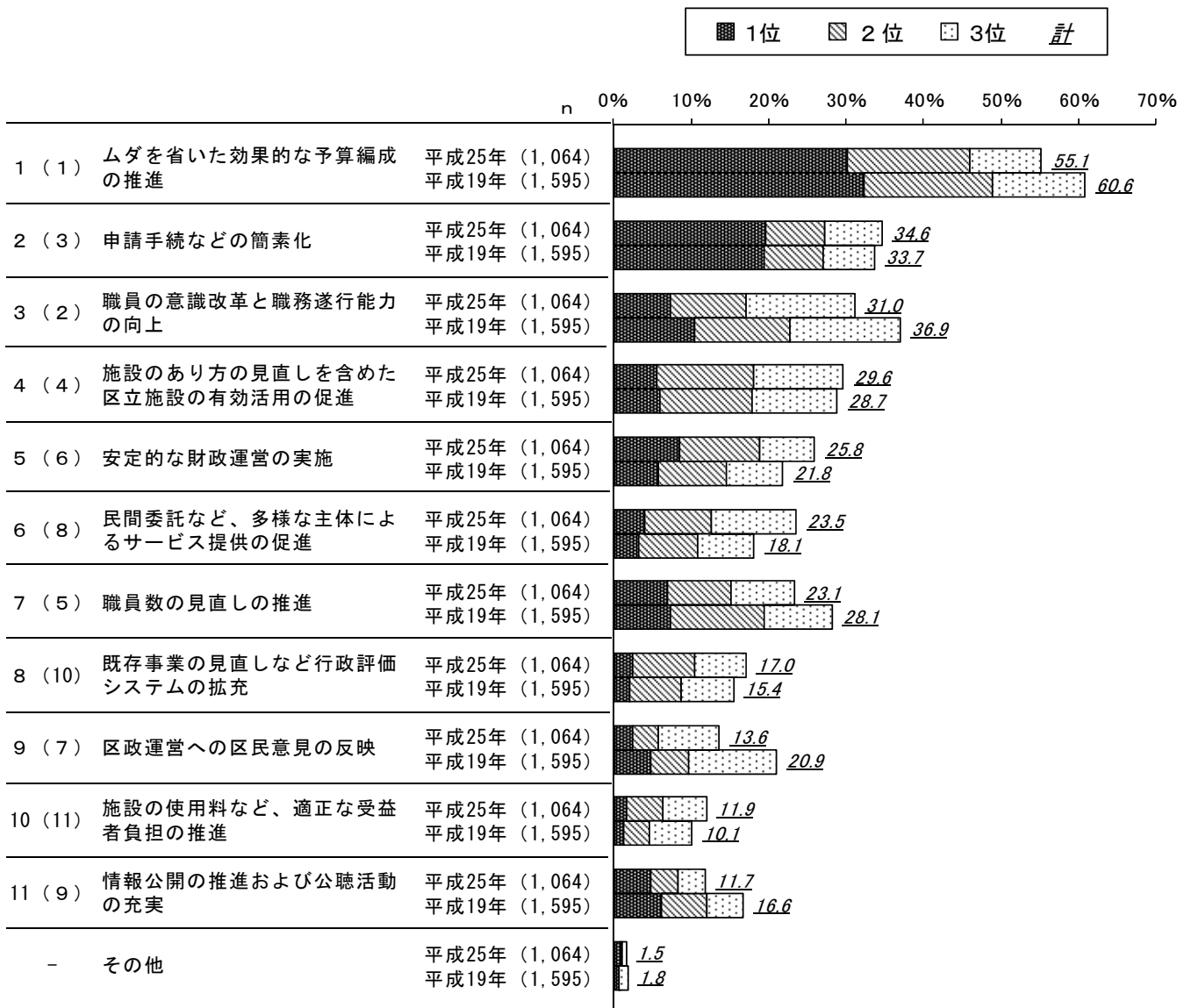


※ () 内の数字は平成19年調査の順位

20 「区民主体の区政実現」に関して力を入れていくべき課題

■「ムダを省いた効果的な予算編成の推進」が5割台半ば

「区民主体の区政実現」に向けて、どのような課題に力を入れていくべきかを聞いたところ、第1位～第3位までの回答合計数の割合は、「ムダを省いた効果的な予算編成の推進」が55.1%と最も高く、次いで「申請手続きなどの簡素化」(34.6%)、「職員の意識改革と職務遂行能力の向上」(31.0%)、「施設のあり方を見直しを含めた区立施設の有効活用の促進」(29.6%)となっている。



※ () 内の数字は平成19年調査の順位

平成 25 年度 大田区 10 年基本計画
「おおた未来プラン 10 年（後期）」策定に伴う区民アンケート調査
概要版
平成 25 年 8 月発行

発行 大田区 計画財政部 計画財政課

東京都大田区蒲田五丁目 13 番 14 号

電話 03-5744-1124

FAX 03-5744-1502